



京都ノートルダム女子大学

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地
URL: <http://www.notredame.ac.jp/>

[問合せ先] 図書館情報センター 研究・情報推進課
TEL: 075-706-3789 FAX: 075-706-3793
E-mail: kenkyu@notredame.ac.jp



京都市地下鉄丸太線「北山駅」下車。1番出口から東へ徒歩7分

京都ノートルダム女子大学 公開講座 2014

7/19
SAT

英語英文学科

グローバル化と英語教育
CLILの可能性と展望

10/11
SAT

カトリック教育センター

土曜公開講座 | 今を生きるために
キリスト教の思想・文化にふれる

10/18
SAT

カトリック教育センター

土曜公開講座 | 今を生きるために
キリスト教の思想・文化にふれる

10/18
SAT

心理学科

液晶画面に吸いこまれる
子どもたち スマホ時代の若者像

11/15
SAT

カトリック教育センター

土曜公開講座 | 今を生きるために
キリスト教の思想・文化にふれる

11/22
SAT

カトリック教育センター

土曜公開講座 | 今を生きるために
キリスト教の思想・文化にふれる

11/29
SAT

カトリック教育センター

土曜公開講座 | 今を生きるために
キリスト教の思想・文化にふれる

11/30
SUN

人間文化学科

文字とイメージ 日本人の美意識

12/14
SUN

生活福祉文化学科

「あかし研究」
～自閉症スペクトラム 小道具モコの場合～

私たちは日々、社会の様々な出来事、問題、課題に直面しながら生活しています。中でも「グローバル化」、「教育」、「文化」、「福祉」、「生活」、「心理」といったキーワードで紐づけられた、私たち自身にとって、そしてそれ以上に私たちの次世代にとって重要となる諸問題に、本学は教育・研究を通して正面から取り組んでいます。本公開講座では、各学部・学科・センターが学術的に焦点を当ててきた問題の一つずつ取り上げ、これらを皆様と共に考え、議論し、未来に向けた新しいアプローチを模索する機会を持ちたいと思っています。どうぞお気軽にご参加下さい。



英語英文学科

グローバル化と英語教育 CLILの可能性と展望

本学人間文化学部英語英文学科グローバル英語コースキックオフセミナーとして行う公開講座です。グローバル化と英語教育(特にCLIL: Content and Language Integrated Learning)に焦点を当て、上智大学より吉田研作先生をお迎えして「グローバル化と英語教育」というタイトルでご講演頂き、その後、滋賀県立膳所高等学校教諭の富永幸先生、本学大学院中原勝昭教授を交え、海外でのCLIL、日本の高校でのCLILの現状、そして本学グローバル英語コースで予定されているCLIL中心のカリキュラム等についての報告を共有してのパネルディスカッションを予定しています。

日時●7月19日(土) 14時~16時 場所●新ユージニア館3階 NDホール
講師●吉田 研作氏(上智大学言語教育研究センター長)



カトリック 教育センター

土曜公開講座 今を生きるために キリスト教の思想・文化にふれる

一般社会人のための教養講座(受講料、予約不要)。本年度で12回目。長い歴史を誇るキリスト教の思想・文化の一端に触れていただき、迷途の時代を生き抜くヒントを得ていただきたいと願って、毎年秋から冬にかけて開講しています。講師は例年ほぼキリスト教徒です。かつて千利休にキリスト教文化が深い影響を与えたように、この講座も京都の伝統文化に深い影響を与えることができると信じます。受講者は年々増加していますが、キリスト教徒以外の方々にも広く門戸を開きたいと思い、京都新聞社の後援、京の府民大学の対象講座にもしています。

日時	講師	場所
10月11日(土) 14:00~15:00 15:10~16:10	矢島 啓子(本学准教授) 宮永 泉(本学教授)	ユニソン会館1階 社会学習センター1
10月18日(土) 14:00~15:00 15:10~16:10	吉田 朋子(本学講師) 宮永 泉(本学教授)	
11月15日(土) 14:00~15:00 15:10~16:10	Sr.中里 郁子(本学講師) 久野 将雄(本学准教授)	新ユージニア館3階 聖堂
11月22日(土) 14:00~16:10	Fr.星野 正道氏 (白百合女子大学教授・東京教区司教)	キャロライン館1階 アセンブリホール
11月29日(土) 14:00~16:10	ジョン・ブリン氏 (国際日本文化研究センター教授)	ユニソン会館1階 社会学習センター1

液晶画面に吸いこまれる子どもたち スマホ時代の若者像

10代20代のスマホ利用が常態化する昨今、漠然とした不安を持ちながら、何が起きているのか、どう対処したらよいか、戸惑っている方は多いのではないのでしょうか。本講座では、現代の教育・子育てに警鐘を鳴らし続け、研究・啓発で活躍されている下田博次先生・真理子先生ご夫妻をお招きし、具体的なデータをもとにネット依存や裏サイトなどトラブルの実態と対処の知恵について知り、子どもの育ちや学校の現場で「今、何が起こり、何をすべきなのか」を考えます。後半のパネルでは、青年心理学を専門とする本学尾崎仁美准教授、臨床心理学を学ぶ大学院生が加わり、「スマホ時代の若者像」と題し、人間関係や心の問題についてリアルな体験を交えてディスカッションを行います。

日時●10月18日(土) 13時30分~16時 場所●新ユージニア館3階 NDホール
講師●下田 博次氏(群馬大学名誉教授)・下田 真理子氏(NPO青少年メディア研究協会理事)



心理学

文字とイメージ 日本人の美意識

人間文化学科では、多様な文化を尊重しつつ学び、その魅力を発信することに取り組んでいます。他者の文化を理解し語ることは、同時に自分自身の文化とも対決する創造的な行為です。

本講演会では、日本を代表する西洋美術史研究者であり、明快な視点とわかりやすい語り口によって、美術ファンを増やしてこられた高階秀爾先生をお迎えし、「文字とイメージ」をテーマに、お話しいただきます。どちらも視覚的な記号でありながら、それぞれに独自の働きをもつのが、文字とイメージ(画像)です。これらを手掛かりにして、東西の美術を自在に語っていただけます。

日時●11月30日(日) 13時~14時30分 場所●新ユージニア館3階 大講義室
講師●高階 秀爾氏(大原美術館館長)



人間文化学科

「あかし研究」自閉症スペクトラム 小道 モコの場合

自閉症スペクトラムの当事者である小道モコ氏は「ありのままにその人らしく生きられる」社会を願いつつ、自ら描いたほのぼのとしたイラストを通して「あかし研究」についてわかりやすく語ります。

30歳を過ぎてから高機能自閉症スペクトラムと診断された後、小道モコ氏は「あかしのスタンダード」を決めて、不得手な部分は「工夫する」ことに専念しています。同時に、「常識や固定観念でできている高い壁」の向こうにいる「定型発達の人たち」との「橋渡し」を担っています。

後半はフローアーからの質疑に対して、自閉症スペクトラム支援士の久賀谷 洋氏が解説・助言を行います。

日時●12月14日(日) 13時30分~16時 場所●新ユージニア館3階 NDホール
講師●小道 モコ氏・久賀谷 洋氏



生活福祉 文化学科